

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的、必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主 体	事 業 対 象 者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果及び 住民の満足度	今後の課題及び 取組方向
農林部	渡部 謙	農業振興 普及課	担い手・経 営班	小林 香代子	0182-32- 9501	県のオリジナルリンゴ品種 「ゆめあかり」は、スマート フレッシュ処理により貯蔵 性が飛躍的に向上し、翌 年の7月頃まで出荷、販売 が可能となるため、りんご 産出期に出荷することで、 生産者の所得向上が期待 できる。	76,523	直営	・生産者向け試食検討会の開催 (8月、参加人数20名) ・栽培技術講習会の開催 (9月、参加人数15名) ・栽培・貯蔵マニュアルの作成 ・スマートフレッシュ処理実演会 の開催 (10月、2回、参加人数30名) ・処理果実の品質検討会 (3月、参加人数20名)	県	管内リンゴ 生産者	平成28年7月14日	本事業に対し、JA秋田ふ るさと直売の会「ふるさと 安全畑」が、スマートフレッ シュ処理に積極的に取り 組む意向を示した。講習 会やスマートフレッシュ処 理の実技を通じて、生産 者が本技術についての知 識を高め、意欲の向上に つながった。本事業で1- MCP処理した「ゆめあか り」は782kg(46箱、17kg /箱)であり、今後、生産 者が各自販売していく予 定である。	現在、スマートフレッシュ 処理果実は貯蔵中であ り、今後は貯蔵後の品質 の確認と、販売時の注意 点を周知する必要がある。 また、事後調査として 販売状況や価格について 聞き取りを行い、これら事 例をもとに、よりいっそうの 生産者の認知度向上、貯 蔵技術の普及に取り組ん でいく。	
						平成28年7月14日～ 平成29年3月31日									
総務企画 部	古井正隆	地域企画 課	地域振興 班	飯塚 伸	0182-32- 0594	秋田・岩手県境地域の広 域観光推進事業	岩手県と秋田県の県南部 の県境地域は、国道46 号、国道107号を利用した 横軸の移動が主体となっ ている。 また、これまで和賀山塊を 中心とした地域に着目し た情報が多くなく、観光の 空白地帯になっており、県 境を越えた情報発信が効 果的に行われていない。 真昼山を中心に、隣接 している秋田・岩手県の新 たなエリアの連携により温 泉・登山等の魅力を共有 することで当該地域の魅 力を広域的に展開し、新 たな交流人口を拡大す る。	176,256	直営	県境ドライブマップ「岩手と秋田 のまんなか旅」の作成、配布 【マップ対象市町村】 秋田県横手市、大仙市、美郷 町、仙北市 岩手県西和賀町、雫石町 【作成部数】 34,000部 【配布先】 道の駅、観光協会、温泉施設等 47カ所	県、横手市、岩 手県広域県南 地域局、西和 賀町	秋田県、 岩手県の 観光案内 所、道の 駅等	平成28年12月5日	今年度はマップの作成と 配布までの取組となった。 今回印刷文の効果の測定 は、定量的に把握出来る データ(例えばスマホで閲 覧した動画の視聴回数)を 活用しながら実施する。	来年度については、今年 度印刷分の効果を十分検 証したうえで、必要に応じ て増刷やテーマ別マップ、 外国語版など新たな展開 を検討する。
						平成28年12月5日～ 平成29年3月31日									

総務企画部	古井正隆	地域企画課	地域振興班	袴田洋介	0182-32-0594	高校2年生向け企業説明会	平成28年10月末現在、管内の平成29年3月新規高校卒業者の就職内定率は87.9%と前年同期比で△1.0ポイントとなっている。一方、県内就職を希望する割合は57.7%と前年同期比で+1.0ポイントとなったが、県平均を8.3ポイント下回るなど、管内における新規高校卒業者の県外志向が根強いことを示している。これは生徒が地元企業の情報に触れる機会が無いことによる理解不足が一因として考えられる。将来の進路を検討する高校2年後半の時期に、企業から直接、事業概要や採用計画などの説明を受けることで地元企業への理解が深まり将来的な県内就職希望者の増加が期待される。	321,400	直営	高校2年生対象「横手のスゴイ企業発見!ガイダンス」の開催(2月、参加企業47社、参加生徒・教員数573名)	県、横手市、ハローワーク横手	管内及び隣接する他管内の高校2年生	平成29年1月26日	今年で2年目の開催となり、前年より参加生徒数が拡大している。参加企業、学校に対するアンケート調査を行っているが開催内容に満足する回答が多く占めていた。	当振興局としても若者の県内定着を促す重要な取組として位置づけていることから、次年度も引き続き開催する。
						平成28年1月26日～平成29年3月31日							平成29年5月17日		